

## 滋賀県と象印マホービン株式会社との環境関連分野 連携協定書

滋賀県（以下「甲」という。）と象印マホービン株式会社（以下「乙」という。）は、環境関連分野で連携を図るにあたり、以下のとおり協定（以下「本協定」という。）を締結する。

（目的）

第1条 本協定は、甲および乙のそれぞれが有する人的・物的資源を有効に活用して、プラスチックごみ削減、省エネなど環境関連分野における施策の推進、普及啓発・広報活動において、相互に連携・協力することにより、滋賀県民の機運醸成や理解促進を図ることを目的とする。

（連携事項）

第2条 甲および乙は、前条の目的を達成するため、連携して次に掲げる事項について取り組むものとする。

- (1) プラスチックごみ削減、省エネ、その他環境関連分野に関すること。
- (2) その他前条の目的に資する事業に関すること。

2 前項各号に定める事項を効果的に推進するための具体的な取組内容および実施方法については、甲乙協議の上、取組毎に別途取り決める。

（協定内容の変更）

第3条 甲または乙のいずれかが、本協定の内容の変更を申し出たときは、その都度協議の上、必要な変更を行うものとする。

（有効期間）

第4条 本協定の有効期間は、協定締結の日から起算して1年間とする。ただし、本協定の有効期間が満了する日の1か月前までに、甲または乙が書面により特段の申し出を行わないときは、有効期間が満了する日の翌日から1年間本協定は更新され、その後も同様とする。

（守秘義務）

第5条 甲および乙は、この協定に基づく事業の実施を通じて知り得た秘密事項を、本協定の目的外に利用し、または、第三者に開示、漏えいしてはならない。ただし、事前に書面により承諾を得た場合は、この限りでない。

（疑義の決定）

第6条 本協定に定めのない事項または本協定に関して疑義が生じたときは、甲乙協議の上、これを定めるものとする。

本協定の締結を証するため、本書2通を作成し、甲乙それぞれ署名のうえ各自その1通を保有するものとする。

令和元年12月26日

甲 滋賀県大津市京町四丁目1番1号

滋賀県知事

三日月 大造

乙 大阪府大阪市北区天満一丁目20番5号

象印マホービン株式会社

代表取締役社長

市川 典男